

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1091100154		
法人名	株式会社ティエムコーポレイション		
事業所名	グループホームなないろ		
所在地	群馬県安中市宿2153-1		
自己評価作成日	令和5年8月23日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaikogensaku.mhlw.go.jp/10/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=1091100154-00&amp;ServiceCd=320">https://www.kaikogensaku.mhlw.go.jp/10/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=1091100154-00&amp;ServiceCd=320</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日	令和5年9月20日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ケアプランに沿ったケアを実行し、日々安全に楽しく元気に過ごして頂く。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍にあっても、外出や季節を感じてもらおうケアに繋ぐ取り組みが行われている。また、重度化傾向にある利用者の健康面に配慮して、3ヶ所の協力医療機関との連携を図り、必要な医療との密接な関係で支援が行われている。食事については楽しんでもらえる方法を工夫し、日常の食事に加えてイベントの内容も職員皆で考え、おやつづくりでスイーツなど手のかけたものを作り、楽しむことができるよう取り組んでいる。管理者は職場環境に配慮した考えをもとに、職員の希望に沿う業務内容にも考慮して勤務表作成に取り組み、職員無記名のアンケート作成や意見聴取の関係づくりを図り、職員が働きやすい環境につながっている。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	安心でその人らしい生活ができるよう、社長、ナース、ケアマネに出席して頂き、月1回カンファレンスを行い、日々のケアに活かしています。	定期的なカンファレンスを行う際に、理念に沿う支援内容を検討している。地域での暮らしを意識して自宅での延長線上の生活が送れることを柱に実践している。夫妻での利用者もおり、隣室に居室を準備して生活ができるようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍だったので、交流を控えていました。まだ少し様子を見ているところですが、状況が変わり次第、以前のように地域行事などに参加する予定です。	過去には地域の方とバーベキューを行っていたこともあったが、コロナ後は控えていた。10月に地域のお祭りに参加、ハンドベルのボランティアの受け入れを予定している。直近では、散歩の折に、近隣の方のお庭の花を鑑賞して交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して理解して頂けるようにしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、月々の活動、行事、利用者様の状況を報告し、意見交換をしています。ご家族様にも共有できるよう、運営推進会議の開催の都度、記録をご提供し、報告しています。	運営推進会議は、法人内3事業所合同で開催としている。その都度関係者には報告をされており、家族には電話で参加を呼びかけているが、土日開催のためか、参加には至っていない状況である。	運営推進会議メンバー及び開催方法等について検討をされ、更なる会議の内容を活かした取り組みに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通して、情報交換、指導を頂いています。	日々業務報告義務の内容を定期的に報告し、ケアマネージャーは更新認定等の手続きなど、連携を図っている。市の担当者から他事業所についての情報を得るなど、業務に役立てている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止に関する指針を共有し、身体拘束委員会やカンファレンス通じて、拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束をしないケアについて理解し、利用者の行動と皮膚トラブルなど状況を検討して拘束が必要な場合には家族に説明を行い同意を得て、医師への相談も行いながら取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全身状態の観察、利用者様からの訴え、申し送りなどから見過ごすことのないようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現時点では、日常生活自立支援事業を活用されたい方や成年後見人制度を利用されてしる利用者様はいませんが、今後利用する可能性がある方がいらっしゃれば、説明できるようにしたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、家族の方への説明を行い、不安、疑問があれば傾聴し、理解・納得を頂けるよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話や手紙などで利用者様の状況を報告する機会に、ご家族様からの意見・要望を伺い、スタッフ全員で共有し、意見交換しています。	電話や定期的な連絡紙面を通じて、希望や意向を伺う方法としている。元気で怪我をしないようお願いしたいという意向に、一人ひとりの歩行レベルに合わせた移動や歩行補助を行い、転倒予防に取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングで意見交換しています。時には、アンケートを作り、意見を提出してもらい反映するようにしています。	管理者に日頃から意見を言いやすい関係が作られているが、職員からの意見を吸収できるように、無記名のアンケートを実施している。希望休や入浴介助の回数など、要望が公平に反映されるように調整している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の相談にのり、向上心が持てる環境作りを働きかけています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内では、ナースによる感染症対策の指導をカンファレンスで受け、法人外でも研修に参加していますが、コロナ禍だったため控えている部分もありました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍のため、感染リスクを減らすため交流を控えています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス導入前には、利用予定者と面会をし、状況を確認し、意思疎通が可能な方であれば、直接話を伺い関係構築に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の段階でケアマネ・管理者が家族の気持ち・要望を傾聴して、職員と共有しながら信頼を得るようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の要望を聞き、こちらの方針もお伝えし、お互いの納得いくサービス提供ができることを確認しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能を活かすケアをするよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と密に連絡をとるよう努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で控えていましたが、徐々に再開したいと思います。	アセスメントから得た過去の生活スタイル等の情報を活かしたコーヒーを楽しむなどの生活の延長が図れるような支援がある。友人や知人の来訪、利用者が自宅に足を運ぶ支援も、再開の予定にある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が関わりあえるよう、スタッフが間に入って支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も相談可能なことを伝え、支援しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日顔色やバイタル、排便など体調面をチェックし、コミュニケーションをとりながら把握に努めています。	日々の生活の中での動作や表情の変化等から、思いや意向の把握ができるように支援をしている。言語化できない利用者の方には特に変化に気づくような取り組みを職員は共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様、ご家族様の会話の中で把握するよう努め、確認しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、記録等、関わりの中で把握しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族に意見や要望を聞き、モニタリング、カンファレンスを行い、介護計画の見直しや作成に活かしています。	ケアマネージャーは会議内容やミーティング情報をもとに、ケアプランを作成している。そのケアプランはケアに特化していて、ケアが先行するプランになる傾向がある。	利用者がよりよく暮らすための一人一人が抱えるニーズを職員との話し合いから導き出して、チーム皆がケアの取り組みに反映できる計画作成に期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のモニタリングの記録に情報を共有し、ケアプランに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の状況に応じ、支援するよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア・民生委員の方などと連携をとっていましたが、今はまだコロナのため控えています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各利用者様がかかりつけ医による月1～2回の往診があり、適切な医療を受けられるよう支援しています。往診時以外でも受診介助することもあります。	入居時に、家族から受診先を確認している。事業所の協力医療機関が3ヶ所あり、その説明も加えて選択できるようにしている。協力医療機関ごとに月2回訪問診療が行われている。事業所には看護師が配置されていて、診療には仲介支援が適切に行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	業務の関わりを通して看護職員と情報交換を密にして受診や看護を受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけの病院と連携し安心して治療できるように努めており、入退院時は看護師、スタッフが付き添うようにしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約の段階で当社のできることを説明し、家族と話し合い方針を共有して支援しています。	入居時に事業所の契約規約を家族に説明し、共通認識を図っている。身体面での変化が生じた折には主治医に相談し救急搬送して、医療に繋いだ治療が図られている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護職がいる場合は看護職が手当に当たり、いない場合は初期対応できるよう看護師よりアドバイスを受けています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回火災想定での訓練、年1回水害時の避難訓練を実施して、全職員身につけています。	火災訓練は、年2回消防署の協力の下で行われ、災害対策の習得を図っている。過去に水害で4時間ほど避難経験があり、備蓄をして、近隣に住む職員の家族の協力を得るなど、協力体制を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	目線を合わせ、会話、声の高さ、言葉遣いに注意し気配りを心掛けています。	理念に掲げている、尊厳を含むコミュニケーションに特化した対応を大切にしている。事業所が取り組んでいるケアの一つの尿路感染予防として、毎朝陰部洗浄が行われている。そのケアはプライバシーの確保の重要性を理解し、対応方法の共有を図り配慮に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアしていく中で特にコミュニケーションを大切にし、希望を自己決定できるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ケアを優先していますが、意思の疎通ができない利用者様の希望に沿ってケアできているかの把握は難しい部分があります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の趣向を尊重し支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の食べたい物を聞いてお楽しみランチを実施し、食事が楽しみになるよう努めています。おやつも毎日ではありませんが、季節感を感じられるようにしています。	食事内容は、常時利用者から食べたいものを聞きながら意向をくみ、季節を感じるものを提供している。また、イベントの日のメニュー献立は職員で話し合い、手作りランチやバナナパフェなど手作りスイーツの提供で楽しめるよう取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事量・水分量をチェック、月1回体重測定を行い、ナース・主治医に報告しアドバイスを頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、義歯洗浄、うがいができない方は、口腔ウェットをしてケアをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、トイレ誘導、失禁のないよう、対応します。	排泄パターンを把握する記録を取り、時間誘導や排泄行為の支援を行っている。おむつ利用者も増える傾向にあるが、トイレでの排泄ができるように取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	その人それぞれで内服によるコントロールをしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回の入浴できずが何かあればその都度対応しています。季節に伴い、菖蒲湯、ゆず湯、足浴など併せて支援しています。	入浴に対して拒否する利用者はなく、同性介助ができる環境であり介護不安及び不満を訴えることなく入浴の介護支援が施されている。週2回の入浴としているが、汚れてしまった場合には、その都度入浴を提供する取り組みがある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に合わせて声掛けをし、了解した上で休んで頂きます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	確実に服薬支援を行い、主治医・薬剤師・看護師・介護士で情報を共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	タオル・エプロンたたみなど、利用者様ごとにできることをして頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	コロナの為、外出できませんでした。	コロナ禍で遠方への外出制限はあるが、近隣、事業所まわり及び庭先に出て外の風にあたる、散歩をするなど、季節を感じてもらう支援が行われている。カーテンを開けて外の風景を見てもらうなど、外に意識が向き気分転換となるよう取り組んでいる。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現時点では、お金を持っていたいという利用者様はいません。今後、希望があれば家族了解のもと、取次をします。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば家族に電話をしたり家族からの電話を取り次ぎをします。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井が高いホールなので開放的な気分で過ごせるようになっています。季節に合った飾りをし行事の写真、作品も展示します。	共用空間は天井が高く、広い空間の中央に食卓テーブル3台を設置して過ごせるようにしている。その他、テレビの前にはソファがあり、寛げるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配置に気を付けています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の馴染みの物を持ち込めるようにしています。個人のテレビを置き、好きな番組を観ている方もいます。居心地の良さに配慮しています。	居室には、利用者の馴染みの家具・テレビ等の持参がある。壁には、それぞれの写真や家族写真などが飾られている。清掃や配置は職員が清潔と動線を考えて行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様が混乱しないよう気配りをしながら状況に応じ、環境整備をしています。		